



市民の花
なでしこ



市民の木
くすのき

広報ひらつか

昭和59年4月1日/毎月15日発行/90,000部/神奈川県平塚市役所発行
編集・企画部広報課/〒254 平塚市浅間町9番1号 電話23-1111



この子らのために

郷土 平塚のまちづくり

平塚市は、第一次平塚市総合開発計画を策定し、それを基軸に市民福祉の向上のため、いろいろな行政施策を展開しています。

しかし、多様化する市民ニーズと郷土意識のまちづくりを進めるには、まだまだやらなければならない仕事が出揃っていません。そこで、昭和五十九年度初年度とする、向こう五年の第一次総合開発計画の見直しを行いました。これからは、積極的な市民参加を得ながら、清潔で市民本位の市政を推進していきますので、ご協力をお願いします。

ここでは、昭和五十九年度の施策について紹介しましょう。

昭和59年度の行政施策

一、この十年間の平塚市の人口は、平塚で生まれ平塚で育つ市民が増えつつあります。より一層の定住性の高いまちとするため、安らぎと潤いのある、機能性豊かな都市基盤の整備を進めていきます。

●市民生活や産業活動の基本となる全体的な土地利用計画を策定するとともに新たに地区計画制度を導入して、地域住民の意向を直接反映したまちづくりの推進。

●市民の花と木をはじめ、緑の保全と育成に力を注ぎ、都市空間としても重要な公園・緑道づくりの推進。特に「平塚球場」は、市民が気軽に利用できるような管理運営面で配慮する。

●ごみ問題や放置自転車の整備など、秩序ある生活環境をつくるため、市民へのみの運動の展開。

二、社会の高齢化と核家族化の進行により、福祉の領域も多様化し、従来の制度的な扶助と並行して、生きがい問題を中心とした幅広い対応が求められています。一人一人が健康であることが福祉の原点との認識に立ち、現代福祉に適應した心のふれあふ福祉を進めていきます。

●社会福祉基金の拡充をはかり、地域福祉の一層の充実を図る。

●ふれあい福祉を伸張するため、地域ぐるみの体制づくりの推進。

●お年寄りや障害者、あるいは児童福祉に対するきめ細かな福祉の展開。

●健康と医療が一体となった市民の健康づくりの推進。

三、生涯教育の重要性や自由時間の増大によつて、文化・スポーツに対する意識が高まりつつあります。教育、文化の時代に即した広がりのある教育文化づくりを進めていきます。

●学校などの施設整備をはじめとする子供たちの教育環境づくりの推進。

●青少年の健全育成のため、市民ぐるみの運動の展開。

●文化、スポーツの向上・発展を図るため、自主的な学習と活動を促す「場づくり」の整備と、郷土の伝統と特色を生かした新しい文化づくりの促進。

●生涯教育とコミュニティの根拠となる公民館の整備、社会教育の充実。

四、経済の低迷と都市の成熟化ともない、都市の活力の維持発展が大きな課題となっています。本市の恵まれた自然と立地条件、さらに半世紀にわたって培われた市民のおう盛な生活を生かし、活力と魅力を涵えたまちづくりを進めていきます。

●都市近郊の立地を生かした農業、漁業の基盤づくりの推進。

●近代化へ向けての再生が問われる中心商店街の活性化を図る「サンライズひろつか」計画の推進。

●民間活力を導入した再開発計画や立体駐車場計画などの促進。

●新幹線相模駅の誘致と西部丘陵地の開発についての計画推進。
なお、予算の内容については、広報ひらつか四月号で紹介いたします。

60年4月のオープンを目指して



名称も 「平塚球場」に

順調に進む工事

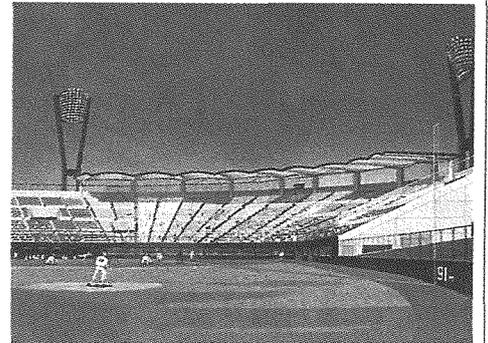
市民の待望久しい旧農林省東部試験場跡地に建設中の総合公園野球場は、来年四月のオープンを目指して、順調に工事は進んでいます。完成すると、ナイター施設も備えており、県下では横浜球場、川崎球場に次ぎ、本格的な公式野球場となり、また、防災公園として兼用できるよう、防災用備蓄倉庫や貯水槽等を持つ野球場としては、全国でも珍しいケースとなります。名称もこのほど市民に愛され、親しまれるよう、「平塚球場」に決まりました。それでは、主な内容を紹介します。

工事は現在、内野スタンドの基礎工事が終わり、上屋の一部分を建設中です。外野スタンドは、すでにフェリスボールが建てられ、芝生張り、フェリス等が完成し、野球場のイメージが整いつつあります。

スコアボードやバックスクリーン、照明等も現在建設中で、本年十月末にはこれらの

野球場の概要

グラウンドの面積は、一万二千七百五十一平方メートルで、本塁とセター間は百二十メートル、本塁と外野間は九十一メートル、本塁と



平塚球場の完成予想図

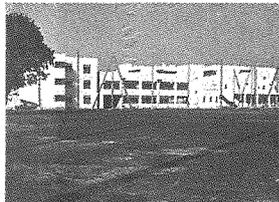
バックネット間は八十三メートルで、プロ野球も十分使用できる広さとなっています。

内野スタンドは、黒土と砂を混ぜたクレイ舗装で、外野は芝生、選手にけがのないよう、内野のコンクリート壁には、危険防止用のスパークフェンスを張ります。

内野スタンドは、鉄筋コンクリート造り二階建てで、総面積は六千八百五十九平方メートルで、一階は切符売場、医務室、審判室、放送室、雨天でもブルッチングの練習ができるピッチングの練習場が設けられます。二階には、ロビーやギャラリー、売店も設けられることになっています。外野スタンドは、すべて芝生席で、内外野合わせて一万余人の観客が収容

できます。

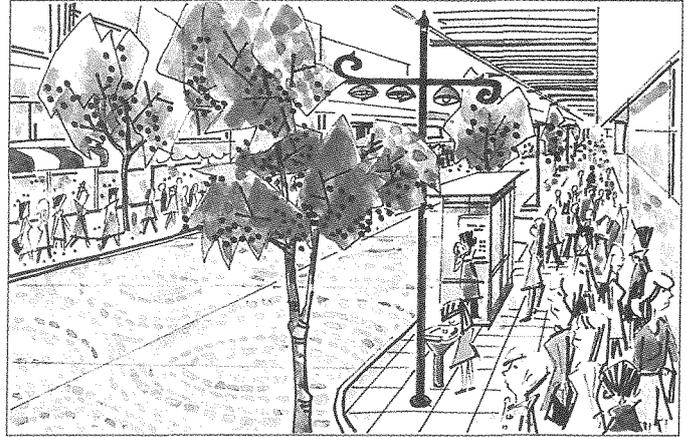
大原高校が開校



果樹試験場跡地に建設中の県立大原高校(常盤博校長)が完成し、四月一日開校します。

施設は、鉄筋コンクリート造り二階建ての校舎と体育館、グラウンド、テニスコート四面、バレー・テニスコート各二面、トレーニング教室が設けられています。また、交流広場として屋外ステージ、ミニテニスコートも設けられています。

"サンライズひらつか21"計画



活気ある中心街に

平塚市の中心街を活性化し、二十世紀に向けての街づくりを、平塚市まちづくり委員会の提言に基づき、サンライズひらつか21を開発期間のあるまじく、現の検討をしながら、このほど「平塚市中心街まちづくり計画」が、度からモジュール化を着手する。愛称も、「輝く朝日の二

ラー舗装化へ

また、七夕のときの星座を道路に表して、待合い場所等の目印にしたいと、今年度は、一番街(新光寺)で、めんべい座、手塚、へつかい座、乙女座(以上西郷通り)を含み、

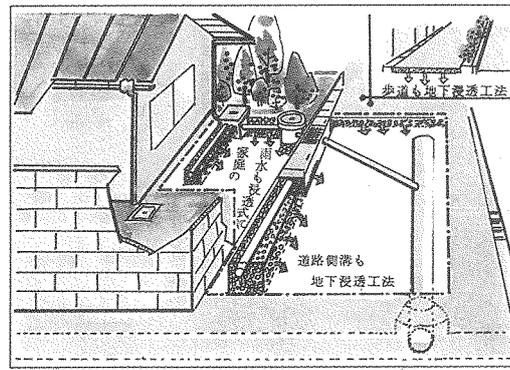
- ① ショッピングモールと緑道の整備
- ② 北口駅前広場、西口駅前橋の整備及び民間駐車場、駐輪場の助成
- ③ 公園整備や、中庭、通り抜け小道づくり
- ④ 文化・創造のステージづくり
- ⑤ 文化・教養・スポーツ健康施設の大規模商業等施設への併設奨励
- ⑥ まち角から文化を包含い言葉に文化的催事の促進
- ⑦ 建物の壁面利用等「まち角ギャラリー」などミニ文化空間づくりの促進
- ⑧ このような施策が盛り込まれている。

着々進む下水道

市民が健康で快適な生活を確保するためになくてはならないのが公共下水道です。公共下水道は、昭和三十九年から市街化区域の約四五割におよぶ一千三百八十九・二☆☆☆ハクタールを三期に分けて整備を進めています。昭和五十九年三月末現在九百三十三☆八・八ハクタールの整備が完了しました。残りの区域も、昭和六十五年までに完了する予定なので、事業区域等主な内容をお知らせしましょう。

事業認可の六七%を整備

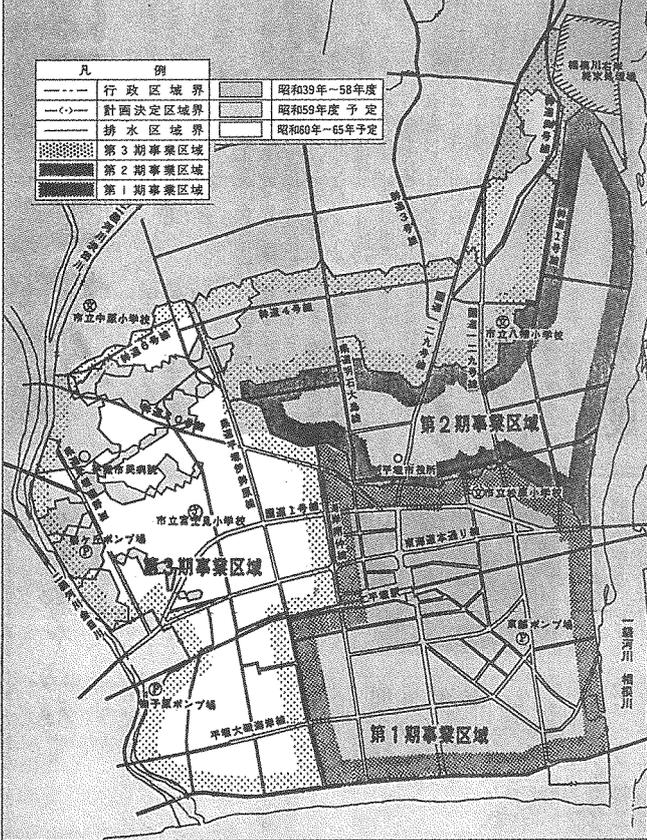
平塚市の公共下水道は、昭和四十九年から相模川と三十九年に第一期事業として、水質汚濁の解消を図るため、国鉄平塚駅を中心に三百九十三・二七ハクタールの事業認可を受けて、建設に着手しました。続いて、第二期事業整備を進めています。



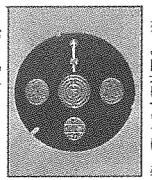
地下浸透式工法を

平塚市の下水道は、平塚市型地下浸透工法を採用しています。この浸透工法は、雨水を自然に濾す①雨水を自然に濾す②浸水や水を直接放流しない③一時貯留させながら、雨水を土の中へ浸透させるものです。

公共下水道施工区域



第三期事業は、昭和五十三年から第一期、第二期事業の西側に隣接する市街地と一部工業地帯を含む六百八十七・六七ハクタールの面積を、その後に、十二ハクタールの追加認可を受け、現在は一千三百八十九・二九ハクタールの整備を進めています。現在までの建設費は、



七タのマークをマンホールふたのデザインを一新しました。市章や七タシンボルマーク、地名、方位などが入っています。二覽りりの区域については、第二期総合開発計画にそって施工し、昭和六十五年までに整備していく計画です。

公共下水道へ早めに接続を公共下水道が整備され、処理供用開始されます。処理供用開始後、洗濯機などの排水は一年以内に、くみ取り便所は三年以内に水洗化へ改造するよう義務づけられています。事業所については排水設備を一年以内に設置して、公共下水道へ接続しなければなりません。処理開始区域内でまだ改造していない方は、水洗化の助



完成した中原幹線

四月五日の入学式には二百七十名(六クラス)の生徒を迎えます。

成金や改選金の貸し付けあつて施制度もある。早めに改定していただきたい。なお、詳細は事務課へ。

もう安心下田排水

下田排水路は、これまで一時間二十分以上の降雨になると、しばしば浸水し、付近の住民の方々に、大変迷惑をおかけしてまいりました。これを解消するため、五十八年度事業で、下田排水路を分水する別ルートの中原雨水幹線を新設しました。



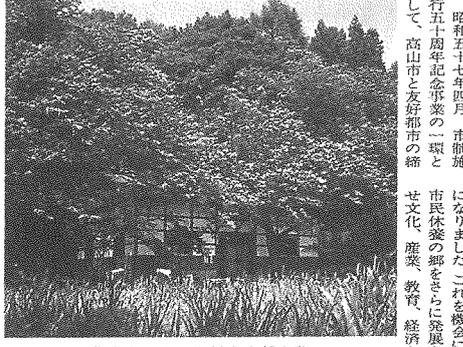
四月五日の入学式には二百七十名(六クラス)の生徒を迎えます。

花巻市と友好都市に

友好都市

結を、また、花巻市と天城湯ヶ島町と市民休養の郷としての発展を促進させると同時に花巻市を祝ひ、友好都市の提携をする事になりました。

この花巻市が、昭和二十九年四月日に市制を施行後、今年で二十周年を迎えることになりました。これを機会に、市民休養の郷をさらに発展させ文化、産業、教育、経済な



花巻市にある高村光太郎山荘

千二百人が訪問

岩手県花巻市は、東北一の温泉郷であり、平塚市の五倍の面積を持つ雄大な自然に恵まれたまちです。

市民の休養の郷として締結してから二年間に、約千二百人の市民のみならず、花巻市を訪問。また、花巻市民も七夕まつりなどで平塚に訪れ、両市民間の心のふれあい、深まっています。

これからは、今度以上に、宮沢賢治や高村光太郎の文化遺産を守り育てて、花巻市民と一人でも多く知り合うことができよう期待します。

七夕まつりの日程



7月5日から9日まで

今年の七夕まつりの日程が決まりました。七月五日



（本から九日月までの五日間です。）

催し物等イベントについては、現在検討中ですが、四月の下旬に開かれる平塚七夕まつり実行委員会、具体的な内容が決定します。

七夕まつりに華を添えるミナス七夕コンテストは、六月十七日市民センターで開かれますが、応募要領等詳しくは、まだ決まってお知らせしたいと思っております。

混雑緩和のために、昨年行った歩行者の一方通行は、今年も行う予定で、一方通行となる明石町通りのイベントも計画中です。二期得々大き

カ

西紅谷通り商店会は、五十七年度から二年連続でカラー舗装をしています。

どが描かれています。散歩がてら見つけてはいかがでしょうか。

自転車

駅周辺は置けません

自転車は近距離の交通手段として最も便利な乗り物といえます。燃料が不要なので経済的ですし、大気も汚染しません。乗れば運動にもなり、健康に良い面もあります。

しかし、こうしたあらゆる利点を活かすのが自転車利用の仕方によっては、公害の原因となっているのが現状です。

現在、駅周辺には、約三千

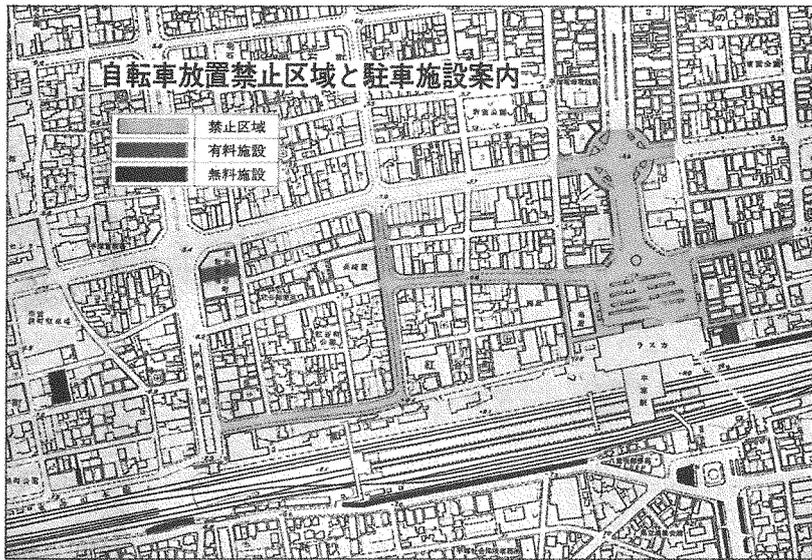
五百台の放置自転車があり、歩行者の通行や炎時の防災活動の障害になっています。また、街の美観を損ねています。

そこで、先にもお知らせしたとおり、「平塚市自転車の放置禁止に関する条例」が施行され、四月十日から自転車放置禁止区域(左図)を設けて、自転車を放置しないよう指導等を実施します。

三か月保管して処分を

放置禁止区域に四月十日以降に委託した整理業者が警告札を取り付け、そのあと移動します。移動した自転車は、三か月間市で保管し、所有者のわかるものは、返還日を指定した文書で所有者に連絡して引き取っていただきます。それでも持ち主が引き取りにこない自転車は処分されます。禁止区域以外の自転車についても、整理業者が巡回し、通行に支障をきたすような場合は、取り去っていただきます。

オートバイは警察が道路交通法の適用を受けるので、一切駐車できません。違法駐車は、平塚警察署が取り締まります。ご注意ください。



駅ビル東側に完成した北口自転車駐車場

自転車駐車場が完成

駅ビル東側に、有料の「平塚北口自転車駐車場」が完成し、三月一日から営業を始めた。

この自転車駐車場は、財団法人自転車駐車場整備センターが、須賀地下道の上部に建設したもので、鉄骨三階建てで、乗り手が自分で自転車を運ぶ自走式駐車場です。収容台数は六百八十一台。

利用方法は、月きめと二時

は整理します。なお、長期放置の場合は、禁止の区域と同様の取り扱いとなります。

自転車を利用される方は、禁止区域外だからといって、降自転車を放置すると、民間に委託した整理業者が警告札を取り付け、そのあと移動します。移動した自転車は、三か月間市で保管し、所有者のわかるものは、返還日を指定した文書で所有者に連絡して引き取っていただきます。それでも持ち主が引き取りにこない自転車は処分されます。禁止区域以外の自転車についても、整理業者が巡回し、通行に支障をきたすような場合は、取り去っていただきます。

オートバイについては、道路交通法の適用を受けるので、一切駐車できません。違法駐車は、平塚警察署が取り締まります。ご注意ください。

白寿荘を訪ねて

市制五十周年を記念して建設された東部福祉会館白寿荘は、鉄筋コンクリート造りの二階建ての老若入り対象にした施設です。

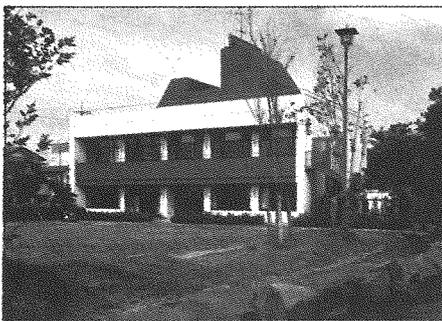
今日は、普救院のない秋山和子さん(高村・主婦)・稲葉美枝さん(万田・主婦)に白寿荘をのねていただきました。

休む持たにかせない機能回復室、そこから望む広々とした大広間は、軽下カーペットを敷きつめたように思えます。



と、まず気付くことは、お年寄りを事故から守るためにスリッパを使用していないことです。私は冷や症だという人は、軽下カーペットを敷きつめたように思えます。

体育保持にかせない機能回復室、そこから望む広々とした大広間は、軽下カーペットを敷きつめたように思えます。



白寿荘の全景

蹴りかたの長い冬もようやく終わり、春の足音が一歩一歩と近づいてまいりました。そんなある日、私は、春の光をあびてひととき明るく新鮮に映える白寿荘を訪ねました。

館長さんの感嘆に満ちた笑顔に迎えられる間に入る

さらに、教養を高めるためのせいそな和室の教養倶楽部、図書室、相談室が設けられています。図書室には、これか少しずつ本が増えるそうです。

館内は落ち着いた色調でまとめられ、二階には車いすでも昇れるようにゆるやかな

私は、このすばらしい白寿荘を訪れ、平塚市の老人福祉行政のあり方をかい間見た思いがいたしました。

〇〇〇〇

▽利用できる方 市内在住の六十歳以上の方と同伴者老人クラブ員など。

▽所在地 大神二八五

電話55 七二〇〇

▽交通 神奈中厚木行または大神行バス停隣の地下車

目でみる平塚

中学校	小学校	離婚	転出	転入	婚姻	死亡	出生
生徒903人に1校	児童934人に1校	180.9組	1828.4人	1832.7人	183.9組	182.6人	188.2人
乗用車	病床	医師	病院・診療所	救急車出動	ごみ	市税1人当たり	予算1人当たり
1.4世帯に1台	92人に1床	943人に1人	1,504人に1か所	1日13件	181世帯あたり2.5%	100,863円	185,462円

目でみる平塚